

2011 Japan National Team Report "player"



報告者	クラブ ^{藤原} 藤原少年セーリングクラブ 学年 中学2年 氏名 林申原 仁人		
大会名	アジアセーリングチャンピオンシップ		
開催地	マレーシア		
大会期間	2/19 ~ 2/25		
セールNo	3219	最終順位	15位

■ 帰国後1ヶ月以内に、海外派遣担当 田中 (mamet@silverzaq.jp) までメールにて送付して下さい

JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します

■ 記入時の注意点

1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
2. なるべく詳細に記入して下さい
3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい

■ 写真資料について

1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温 ウエアについて	気温は30℃ぐらいで、水温は気温の暑さに比べたらちょっとぬるい です。 服は陸では半そで、海では長そでの服を着ていました。
海面（湖面）の 特徴や風の傾向	海面は基本凧月が強く、朝は凧朝が引いていて、昼ごろには 凧朝が満ちていました。 風の傾向は朝は基本風がなく、昼にかけて風が強くなるという感じで、風の 風向は左から右に振動していた。
セッティングで 注意したこと	なるべく糸受めにセッティングをした。
セーリングで 注意したこと	全体の重きを見ながら、なるべく合わせてタックをするようにした。 嵐の来るかやブローヤ凧月の流れを考慮ながらコースをとった。
海上で練習した こと	スターボとポートに分かれて同時にスタートをし、1分間か2分間 ぐらい経ったらタックをし、右か左のどちらが有利かをチェックした。

実際のスペリは どうでしたか?	スピードは他の選手とあまり変らなかったが、コース取りで負けてしまった。
スタートは どうでしたか?	スタートは、漕月に気をつけながらスタートをし、なるべくルームがあいている所からスタートするようにした。
コース戦略は どうでしたか?	大きな手辰本を予想しながらも、ブローをとるおに専念した。
自分より上位の 選手との違いは?	タックをするタイミングがうまく、風の弱い時のスピードが速かった。
国内の練習で 役立ったこと	レース海面のどちらが有利かを見分けれる練習や、漕月の流れを見る練習。
国内の練習で 足りなかったこと	ロングコースでのコース取り練習。
印象に残った 外国選手は?	シンガールの選手や中国の選手が印象に残った。
今後の課題と 目標は?	またナショナルチームに入り、海外へ行きたいです。
JODAへの要望	
その他	JODAのみなさん刺がらうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会